

新庁舎建設基本計画（案）市民説明会（福重地区）

開催日時	平成 30 年 5 月 24 日（木） 19 時 00 分～21 時 10 分
会場	福重住民センター大会議室
参加者	22 人

質疑・意見と回答（意見に対する考え方）

（ご意見の一部については、趣旨を損なわない範囲で要約させていただきました。）

No.	質疑・意見の要旨	回答及び意見に対する考え方
1	建設費の増についてであるが、新庁舎に外局の部署を集約する必要はないと思う。既存施設をリニューアルして使用するなど、できるだけ建設費を節約してほしい。	昨年実施した市民アンケートにおいて、分散している部署を集約してほしい旨の意見が多くあり、基本的には集約する考えで計画（案）を策定していますが、建設費の縮減に関する意見も多くありますので、今後、検討したいと考えています。
2	建設費などの条件が変わったため、計画を見直すべきではないのか。建設場所から議論をやり直してはどうか。	色々な条件が変わったため、進まず止まって考えた方がいいのではないかとご意見については、内部で検討させていただきます。なお、建設場所については、市全体の候補地の中から最終決定してきたことをご理解いただきたいと思います。
3	ここから本庁へ行くには遠く、交通の利便性も悪い。本庁へ用事がある場合は、自家用車を利用しているが、最近では高齢者の免許返納があつてのことから、北部地区に支所を建設し、本庁まで行かないでもいいようにすれば、本庁の規模も縮減できるのではないか。	出張所機能を含めた中地区公民館の建替えを行うので、郡コミセンの機能と一緒にした出張所も今後考えていかなければならないことを踏まえながら、新庁舎の規模、機能を検討したいと考えています。
4	基本計画（案）に関するパブリックコメントについては、「保留」という形でもいいので、全てに回答してほしい。	内容を確認し、回答するようにします。
5	前提条件が変わっているため、基本計画について、白紙撤回し、もう一度市民の意見を聴いてほしい。	建設費の単価については、今後の消費税率の変更、労務単価の上昇を加味しています。条件が変わったなどに関しましては、ご意見として賜ります。

No.	質疑・意見の要旨	回答及び意見に対する考え方
6	建設費の縮減方法を考えてほしい。	建設費の縮減方法については検討したいと考えています。
7	市債は現在いくらあるのか。庁舎を建設しても、財政運営に支障は無いのか。	市債については平成30年度で422億円となります。現在市の財政は、いわゆる財政健全化法の定める危険水準よりも非常に低い数字で推移しています。今後についても、中期財政見通しを立て、将来の推計をしています。昨年12月に財政健全化方針を策定し、健全な財政運営ができるように努めています。
8	現地周辺においては、イベントが重なった時など、交通渋滞がひどいと感じることがあるので、外局を集約する際は、駐車場の台数も含め、しっかり考えてほしい。	駐車場については、周辺の状況や、ボート開催、花見などのイベント時期も含め、引き続き検討していきます。
9	集約した後の分庁舎のこどもセンターなどの建物はどうするのか。	正式に決定していませんが、できる限り売却し、財源を確保したいと考えています。なお、外局の施設を活用して新庁舎の規模を縮減すべきとの意見も出ているため、そのことも検討したいと考えています。
10	現在作成している業務継続計画との関連性はあるのか。	現在の業務継続計画は、現庁舎を前提に作成しているため、新庁舎が完成後、新庁舎での業務継続計画を策定する予定です。
11	別館のIS値には幅があるが、どれだけの危険性があるのか。 各数値における細かい部分も掲載してもらいたい。	別館については、棟屋以外の1階から4階までのIS値が全て0.6以下となっていて、震度6強以上の地震で倒壊又は崩壊する危険性がある状況です。 詳細な数値については基本計画の資料編に掲載したいと考えています。
12	庁舎を建設する際の市債は何年で償還するのか。	30年償還を考えています。
13	庁舎建設に係る基金の積立はどの程度あるのか。積立を開始したのはいつからか。	基金の積立額は約17億円です。積立については、平成9年から行っていますが、一時期積立ができず、平成25年度から再開しました。

No.	質疑・意見の要旨	回答及び意見に対する考え方
14	現在の本庁舎の年間の維持管理費はどのくらいかかっているのか。	本庁舎の維持管理費については、光熱水費などを含めて、6,000万円から7,000万円程度です。
15	本館を耐震化した場合、その費用はどの程度かかるのか。	本館のみで8億円から12億円程度と見込まれますが、建物自体が50年を経過しており、耐震補強をしても、長寿命化は難しいと考えています。
16	耐震補強により建物の延命化を図り、その間に基金を増やすという考えはないのか。	そのようなことも1つの手法だと考えます。しかし、耐震補強をしても長寿命化は難しく、耐震化の費用や維持費用などもかかります。建替えの貯金か、償還金に充てるかを考えた場合に、現庁舎の老朽化などがあることから、早期の建替えということを総合的に判断しました。
17	市庁舎の建設後においても、公共施設の整備を何か計画しているのか。	現在、環境センターの建替えを計画しています。新幹線、図書館、新庁舎の整備など大きな財政投資が重なってきますが、シミュレーションを行いながら健全な財政運営に努めてまいります。
18	ろう学校跡地はどのようになるのか。	ろう学校のある新幹線駅周辺については、民間活力による開発を進めたいと考えています。
19	福祉系の部署は、新庁舎に移るのか。	福祉系の部署は、新庁舎に集約することで考えています。中心市街地複合ビルには、地域包括ケアシステムに関する機能を残す方向で考えています。
20	地域包括ケアシステムに関する機能も新庁舎に集約した方がいいのではないのか。	地域包括ケアシステムにおける医療部門や福祉部門の関係団体と連携して事業を円滑に推進できるよう、ケアシステム推進基本計画を現在策定していますので、その機能については、そのまま中心市街地複合ビルに残したいと考えています。

No.	質疑・意見の要旨	回答及び意見に対する考え方
21	<p>市庁舎の建設場所などに対する住民投票はできないのか。</p> <p>新庁舎建設に対して多くの意見が出ており、今後、計画が円滑に進むとは思えない。</p>	<p>議決権を有する議会の声が市民を代表する声だと認識し、また議会はそのような役割を担っていると思います。これまで議会で議論いただき進めています。議会を尊重しているため、住民投票の考えは持っていません。</p> <p>規模縮減などの様々な意見については、今後検討したいと考えています。</p>
22	<p>現地周辺は埋立地であり、液状化の危険性もある。災害が起きたときに、孤立する可能性があるのではないかと。</p> <p>そうした場合、自衛隊や警察署の近くに建設した方がいいのではないかと。</p>	<p>県の防災アセスメントで、西大村地区以北において液状化となる範囲が広いとされています。防災機能については、離れていても、通信手段が確保されていれば情報交換が可能であり、建設場所にかかわらず、災害の状況に応じてどのように対応していくかが重要だと考えています。</p>
23	<p>埋立地に建設というのは、どうしても災害の対応に不安がある。建設費も上昇するのではないかと。</p>	<p>県庁も埋立地に建設されており、建設単価が約42万円/㎡と聞いております。</p>
24	<p>建設場所についての液状化などの詳しい資料があればと思う。</p>	<p>基本計画につける参考資料について充実を図りたいと考えています。</p>